



高らかに第一波勝利宣言 十三回定期委員会開る

動労千葉は十二月十六日、千葉県教育会館において、第三回定期委員会を開催し、十一・二八～二九第一波ストライキの切り拓いた巨大な成果と意義をしっかりと確認するとともに、あらゆる反動をはねのけ、全国鉄労働者のゼネスト決起を実現するため、反弾圧・反処分、第二波闘争を皮切りに、第二・第三波の闘いに決起する方針を満場一致で決定した。

第一波の勝利にふまえて さらに、第二波、第三波の体制構築を

委員会は、議長に勝浦の鶴岡委員を選出し進められた。冒頭、あいさつにたった中野委員長は、

「今次ストライキは初期の目的を立派に貫徹した」と高らかに勝利宣言を発すると共に今委員会の任務が①十一・二八～二九ストの総括 ②中曽根・杉浦の反動攻勢に対し組織をあげて対決する体制の構築 ③第二波、第三波に向けての闘争体制の確立にあることを明確に提起した。とくに、第二波、第三波の闘いに向けて、①国労内協会派の「スト破り」居直りを絶対に許さない。②当局が処分について一線をこえてやるならば、われわれも一線をこえた闘いを、年末年始を返上し猛然と突入する。と怒りをこめて提起した。

全国から檄電・メッセージ

来賓のあいさつに立った東京実行委員会の長谷川英憲氏は「動労千葉のストは全労働者の怒りに火をつけ、進むべき方向を示した。一億円基金を全力をあげ達成し、動労千葉を守る」と連帯と決意を明らかにした。

続いて、布施書記長から運動方針案、山口副委員長より協約・協定の締結につ

いて提起がなされた。

東洋大学教授の竹内良夫氏、部落解放同盟荒本支部の瀬川支部長、元東大阪市立意岐部東小教頭の辻岡豊氏、東京実行委員会の青柳晃玄氏、沖縄民権の会の古波津英興氏、東大分院職組を始めとする数多くの檄電・メッセージが紹介され、質疑に入った。

第二波、第三波へ熱気あふれる質疑・応答

質疑は、①成田・大須賀委員 ②本部副青年部長・繁沢君 ③千葉転・後藤君 ④津田沼・重見委員 ⑤幕張・滝口委員 ⑥津田沼・川崎君 ⑦津田沼・山下委員 ⑧津田沼・綾部委員 ⑨事務分科・清水委員 ⑩幕張・白井委員 ⑪新小岩・斉藤君 ⑫銚子・越川君ら委員・傍聴者十二名が発言、それぞれ十一・二八～二九ストの勝利と切り拓いた地平へ確信を明らかにするとともに「今こそ全国へうって出よう」「スト破りを絶対あいまいにするな」「いつでも第二波の拠点引きうける」など自信にあふれた熱っぽい意見が続出、これを受け、布施書記長の答弁、中野委員長の見解が受け、組合歌合満場一致で方針が決定された。

最後に、委員会宣言の承認、組合歌合唱、委員長の見解の承認、組合歌合を終了した。「（報告・第一報）」

処分反動-スト破り居直り うちだき 団結固く来2波へ

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！